

VOL.07

修学旅行（京都）について調べよう！

2015.01 作成

○京都とは…？

京都府は、南北に細長い形で、北は日本海に面しています。府全体としては起伏に富んだ山地や高地があり、それらの間にいくつかの盆地が点在しています。

(ポプラ社『都道府県別日本地理 近畿地方』より)

○概要を調べる

* 網掛けは児童コーナーの資料

- ・ 29『日本の地理 3 近畿地方 最新版』 井田仁康監修/学研 [2013]

→各都道府県の解説の前に、各地方全体の特色を解説したページがあるので大まかな特徴を捉えることができる。自然・産業・文化の他、景観を守るための取組みに関する記事もある。

- ・ 29『ビジュアルワイド新日本風土記 京都府』 市川健夫監修/ぎょうせい [1989]

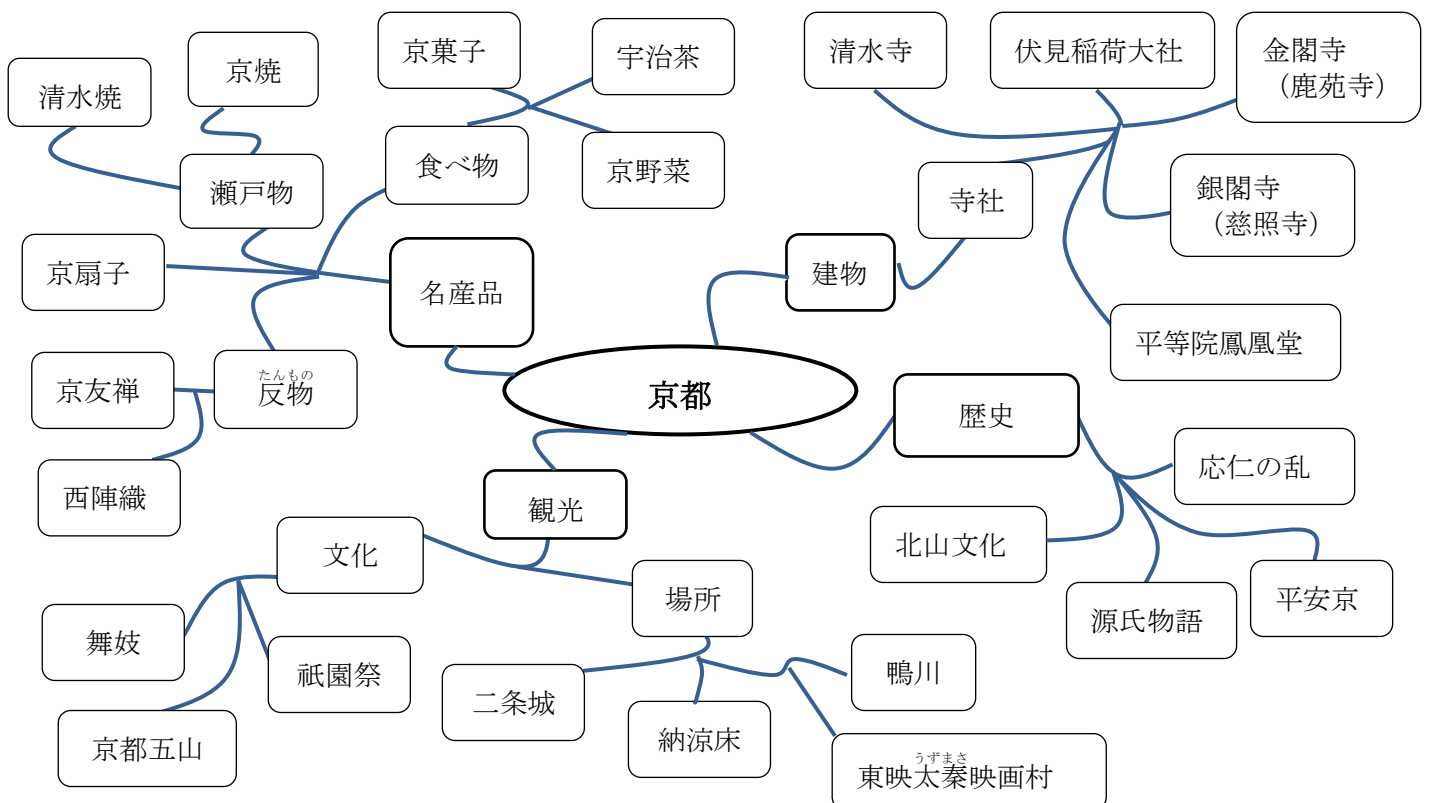
→京都府の自然や地形をカラーの航空写真で詳しい解説付きで見ることができる。全てカラー写真で解説をしているので文化・芸術作品の色合い・風合い等を知るにはこの一冊。

- ・ 29/R『都道府県別日本地理 4 近畿地方』 小松陽介監修/ポプラ社 [2010]

→大まかな歴史の流れがわかりやすく記述されており、京都の芸術や産業が生まれるまでの歴史的な背景を知ることができる。交通・産業・文化についても詳しい解説がある。

○詳しく調べる

▶関連キーワード



▶日本十進分類法（一般書）で探す

【291.6 地理（近畿地方）】【185.9 寺院】【718.3 仏像】【709 国宝】
【705 工芸】など

▶児童・YAコーナーで探す

【Y221 修学旅行】【29 地理】【21 歴史】【25-6 産業・仕事】【16 宗教】

▶例えばこんな資料

- ・16 『仏像がわかる絵事典 ～修学旅行にも使える！成り立ちから鑑賞のコツまで～』
瓜生中監修／PHP研究所 【2012】
→3章に分かれて仏像を解説しており、第1章で仏教や仏像の成り立ちを紹介し、第2章でそれぞれの仏像の特徴を詳しく解説し、第3章で実際に仏像を見るときに役立つ情報を載せている。それぞれにイラストや写真も載せているため、非常に分かりやすい。
- ・21 『調べ学習日本の歴史4 金閣・銀閣の研究～日本文化のルーツをさぐる～』
ポプラ社 【2001】
→金閣寺・銀閣寺についての詳細はもちろん、当時の京都での庶民の暮らしぶりや室町時代に京都に作られた様々な庭園についても知ることができる。
- ・21 『調べ学習日本の歴史11 都の研究～移り変わる都と人々の歴史～』 ポプラ社 【2001】
→38頁から平安京についての記述が始まる。歴史や都の全体図やどのような人々が暮らしていたかなどを知ることができる。また、院政期から室町時代、戦国時代、江戸時代など各年代野の京都についても知ることができる。
- ・Y221『風雲幕末、龍馬が走る』 木村武仁監修／淡交社 【2010】
→坂本竜馬や西郷隆盛、新撰組など幕末の京都での足跡をかわいいイラスト付で紹介している。京都市内をいくつかにわけて、今も残るお店や寺社で幕末にどのようなドラマがあったのかをわかりやすく絵で解説している。凄惨な刃傷沙汰の解説もイラストがかわいすぎてあまり暗い気持ちにならず読み進めることができる。
- ・Y221『京都を歴史に沿って歩く本 平安～室町時代篇』【2012】 武光誠／河出書房新書
→だれが、いつ、何のために作ったのか、また、作ったことが歴史の中でどのような役割を果たしたのか、時代背景から建立されたその意味までが詳しくわかる。戦国時代～幕末維新篇もある。

京都の仏像・建築物を調べる

- ・Y221『仏像 仏像の基本知識と特徴、見方がよくわかる』 副島弘道監修／日東書院本社 【2013】
→タイトル通り、仏像の基本知識から特徴、作り方に至るまで仏像に関する全てを網羅している一冊。代表的な仏像の役割や意味、さらには仏像用語集まで載っているため仏教に関する知識も深まります。
- ・Y221『世界遺産のツボを歩く京都本』 【2012】 京阪神エルマガジン社
→京都の世界遺産に認定された17の寺社についてカラー写真を交え詳しく解説している。7頁には各寺社の簡単な解説があり、この他にも「見学前の基礎知識」として年表・宗派・建築様式・仏像について詳しい解説がある。

・29『修学旅行で行ってみたい日本の世界遺産2 新版京都の世界遺産』 岩崎書店 [2014]

→世界遺産に認定された寺社の紹介だけでなく、「総合学習」として街のしくみや祭り、さらには歳時記などについても詳しい解説が載っている。寺社の紹介についても非常に詳細に書かれており、寺社の特徴や建立までの時代背景等も詳しくわかる。

京都の伝統工芸を調べる

・25-6『古都の歴史にかおる伝統産業 近畿地方①』 櫻本豊己/太平出版社 [1988]

→59頁から京都の伝統産業の西陣織・清水焼・友禅染の説明が始まる。作業工程など写真もついて丁寧の説明が載っている。大まかに知りたいのであれば、取っ掛かりとしてこの本からはじめるのもあり。

・25-6『日本の伝統工芸8 織物』 リブリオ出版社 [1990]

→京都の伝統工芸・西陣織についてまとめた一冊。西陣織の歴史からはじまり、現在ではどのような製品に使われているかなどもわかる。作り方についても1から10まで事細かにカラー写真で載せているため非常にわかりやすい。

・25-6『近畿の伝統工業』 国土社 [1996]

→14頁から京都の伝統工業の解説が始まる。西陣織・清水焼のほか京扇子についての解説もその歴史や作業工程が大まかに説明されている。

・25-6『日本の伝統工芸9 染めもの』 リブリオ出版社 [1990]

→京都の伝統工芸・友禅染についてまとめた一冊。原材料や職人さんが使う筆や工具などの紹介も載っており、職人さんがどれほど細かい仕事をしているかも伺える。工程一つひとつにカラー写真つきで解説が載っているため非常にわかりやすい。

祇園祭について調べる

・25-8『日本の祭り4 近畿編』 理論社 [2014]

→全国の特徴ある祭りを都道府県別に紹介している。祭りが始められた時期や目的、行われている儀式などについての説明もある。30頁に祇園祭に関する解説がある。

・Y221『イラスト祇園祭』 吉田孝次郎監修/京都新聞出版センター [2014]

→祇園祭の歴史から始まり、祭りで使われる神輿みこしや山鉾やまぼこなどの詳細な説明がわかりやすいイラストで説明がされている。前祭・後祭の各地区で行われる出し物についても詳しい説明が載っている。

・386.1『京都の祭り暦』 森谷尅久/小学館 [2008]

→83頁から祇園祭についての解説が始まる。神事や諸行事、神輿などがカラー写真で見ることができ、白黒では分かりづらい雰囲気や細部を見ることができる。

・386.1『祇園祭のひみつ ～コラムとクイズで解き明かす～』 白川書院 [2008]

→日にちごとに、どこで、どのような行事が行われ、その行事が祭りにおいてどのような意味を持つのかを知ることができる。また頁ごとにクイズが書かれており、祇園祭について、ちょっとした雑学を知ることできる。

○図書以外の資料

◎インターネット情報

・京都府 (<http://www.pref.kyoto.jp/>) [最終確認日：2014.12.12]

→京都府のホームページ。京都府の公式キャラクター「まゆまる」の専用ホームページまである。他にもこどもサイトの『KIDS ROOM』から京都府庁や簡単な時計データがわかる。

- ・公益社団法人 京都府観光連盟 (<http://www.kyoto-kankou.or.jp/>) [最終確認日：2014.12.12]
→エリアごとの特集や季節の特集やイベントなどはここから簡単に調べられる。
- ・伏見稲荷大社 (<http://inari.jp/>) [最終確認日：2014.12.12]
→アニメーションを使用した伏見稲荷やその周りで起きた出来事や伝説の説明もある。

○プラス・ワン！

- ・Y221 『京都に強くなる75章』 京都高等学校社会化研究会/かもがわ出版 [2000]
→京都府下にある国立・公立・市立の全ての高等学校の社会科教員で組織された研究会が著者であるためか目の付け所が他の京都関連本とは一線を画している。内容も5編に分かれており、「京を実感し堪能する15コース」や「京を考え学ぼうとする15コース」などに別れ、それぞれに詳しい解説が載っている。京都の過去だけでなく、今現在の京都についても詳しく知ることができる1冊。2005年に続もでている。

順路を調べ考える

- ・Y221/29 『京都・奈良・大阪修学旅行まるわかりガイド』
ペンハウス/メイツ出版 [2013]
- ・Y221 『京都・奈良・大阪 修学旅行とっておきガイド』
ペンハウス/メイツ出版 [2009]
- ・Y221 『京都寺社案内 散策&鑑賞 京都編』 ユニプラン [2014]
→200件以上のガイドに加え、関連する歴史的な事件や人物の紹介なども載っている。巻末には京都関連年表や寺社国宝建造物や寺社別の仏像一覧、更には「鑑賞の手引き」として簡単な用語集もまとめて載せている。

小説を読んでみる

- ・Fモリ 『有頂天家族』 森見登見彦/幻冬舎 [2007]
- ・Fカフ 『京都西陣シェアハウス』 鏑木蓮/講談社 [2013]
- ・Y93モリ 『エトランゼのすべて』 森田季節/星海社 [2011]
- ・Fマキ 『鴨川ホルモー』 万城目学/産業編集センター [2006]
→京都を舞台にした青春ファンタジー。京都大学生が主人公のため、京都大学周辺を中心に物語が進んでいく。
- ・Fモリ 『夜は短し歩けよ乙女』 森見登美彦/角川書店 [2006]

